

# さがみはら 市史編さんだより 第13号

2003.7.1

## 現代図録編の編さん状況

市史編さん室では来年11月の市制50周年に向けて、「現代図録編」の編さんを進めていますが、今回はこれまでの作業の一部をお伝えします。

### ○写真収集

「現代図録編」の作成に向けて、昭和20年代から現在までの景観や生活の様子を撮影した写真を、様々な方法で収集してきました。その一つに、いわゆる口コミによるものがあります。ある方からの「〇〇さんのところで古い写真を見たことがある」、「△△さんは昔から写真を撮るのが好きだった」等のちょっとした情報を頼りに、「写真を見せて頂きたいのですが〜」と連絡をとります。突然の連絡にもかかわらず、皆さん「役にたつものがあるかどうかかわからないけれど見て構わないよ」と快く写真を見せてくださいました。

それらを見ながら、撮影当時の様子や関係する出来事等の興味深いお話を聞くことができ、貴重な写真を数多く収集することができました。

### ○内容・構成の検討

「現代図録編」の編さんは、4名の執筆者と事務局とで進めています。昨年9月以降定期的に集まり、内容・構成の検討をするとともに、調査・研究の一環として、米軍基地や市内各地域の視察を行ってきました。

これまでの会議では「見る・読む・調べる市史という視点で編集を進める」、「相模原にとって特徴的なことをとりあげる」、

「相模原の劇的な変化が分かるものとする」等の議論をしてきました。その結果、導入編（戦後相模原の歩みの概要をビジュアルな年表や地図で表現する）、テーマ編（写真や図版を活用して、個別テーマを見開き2ページで説明する）、データ編（統計、年表）の3つの柱で構成することとなりました。



市内視察の様子（古淵駅前）

### ○編集作業

写真収集や内容・構成の検討と並行して、掲載写真の選定作業や統計、年表の作成、レイアウトの検討等の編集作業も進めています。

写真選定作業は、現在のところ収集写真のうち、掲載の見込まれるものを生活・文化、産業・交通等の分野に大まかに分類しており、今後さらに具体的なテーマに沿って、最終的には700点程度に絞り込んでいく予定です。

統計や年表には、全ての事項を網羅することはできませんが、相模原について調べる際に必要となる基本的情報を掲載する予定です。

「現代図録編」の刊行まであと1年半を切りました。市民に親しまれ、読みやすいものを作るために、今後も急ピッチで作業を進めていきます。

(主査 小原 隆)

## 現代編探訪 1 防衛庁第四研究所



私たちの生活の身近な所にある、普段あまり気づかないながらも、相模原の戦後の歩みを伝えている場所を、シリーズでご紹介します。

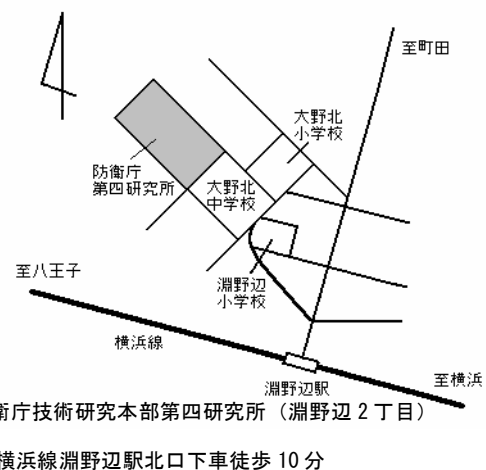
淵野辺駅を北口に出て歩くこと10分、大野北中学校の向かいに、防衛庁技術研究本部の第四研究所があります。

第二次世界大戦末期、旧日本陸軍の相模陸軍造兵廠（現在、在日米陸軍相模総合補給廠）の東側に、陸軍第四技術研究所が設置されました。昭和29年7月の防衛庁設置法施行後、全国にある防衛庁の5つの研究所のひとつとして、第四研究所は、名称とともに相模原に残されました。

今井テル氏寄贈資料には、陸軍時代の研究所の所員により作成されたと推測される、手書きの名簿があります。それによると、研究所は、庶務班、工務班、物理班、化学班、工芸班、製図班の6つの部門に分かれていました。また、国立公文書館には、庶務班作成の簿冊が保管されています。

軍都相模原の名残は、文字史料だけではなく、私たちが目にしているなにげない景色の中にも見つけることができます。

(調査員 五味 ゆかり)



図書資料の整理～このように進めています～

市史編さん室では、各地の自治体の市町村史編さん担当にお願いして市町村史や関連出版物を御恵贈いただいています。その内容は「市史」本体のほか、資料目録や叢書(そうしょ)やブックレット、市史研究と呼ばれる定期刊行物など幅広い種類に及んでいます。

受け入れた図書は、まず日本十進分類(NDC)に基づき歴史や地理などのジャンルごとの番号で区別します(ちなみに番号 213 は関東地方の市町村史です)。図書館の本の背表紙に番号の入ったシールが張ってありますが、それと同じ仕組みです。その後タイトルや著者名と共にパソコンの図書管理台帳に入力しています。また図書本体には市の蔵書であることを示すマークを付けるほか、前出のNDC番号を書き込み、市史編さん室の書棚に大切に納められます。もちろんパソコンで図書の検索ができるのは言うまでもありません。

このほか、一般に市販されている現代史や考古学関係等の参考図書も購入しており、図書の数は平成13年度と14年度で併せて約3千冊になりました。現在は一般の方の利用はできませんが、市史執筆の基礎資料として活用しています。

(主任 方波見 淳)

## 前市史編集室の

### 写真から 11

今回は昭和40年7月に撮影された大沼神社の様子です。神社の創建は古く、享保21年(1736)と伝えられています。ここは現在の東大沼2丁目にあたりますが、当時はその名のとおり沼地が広がっていました。

下の写真は平成14年8月に撮影したものです。社殿の周りには石垣で固められた堀が残っていましたが、水の姿はありませんでした。

市立博物館常設展示室に、大沼周辺の昭和30年、42年、50年の縮尺500分の1の景観模型がありますが、沼が埋め立てられ宅地化が進んだ様子がよくわかります。

(主任 方波見 淳)



編さん室の動き (5月～6月)

月	日	内 容
5	1	市史編さんだより第12号発行
	9	現代図録編執筆者打合せ会議開催
	10	自然編関東ローム分析試料採取(御殿場市周辺ほか・11日まで) 富士見市難波田城資料館へ市制50周年記念展関連視察
	13	博物館防災訓練に参加 加藤編集委員・かながわ考古学財団御堂島氏と考古編打合せ 博物館収蔵庫から市史編さん室資料保管庫に公文書資料を移動
	15	小川編集委員と民俗編打合せ
	21	国立公文書館へ現代編資料調査
	22	東京国立博物館へ考古編資料調査(28日にも実施) 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会研修会へ参加(県立公文書館)
	27	座間市立図書館へ現代編資料調査
	6	5
6		高村氏と国立国会図書館の占領軍関係資料調査打合せ
11		現代図録編執筆者打合せ会議開催
12		博物館と市制50周年記念展打合せ
13		上溝小学校へ現代編資料調査
18		平成15年度第1回市史編集委員会開催
19		神奈川県立歴史博物館へ考古編資料調査
20		市史編さん審議会委員公募委員選考会開催 名古屋市史編さん事業視察 麻溝小学校へ現代編資料調査
25		岩野編集委員と自然編資料調査打合せ

### 「さがみはら市史編さんだより」第13号

発 行 平成15年7月1日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

T E L 042(750)8025 / F A X 042 (750) 8039

E - M A I L : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp